

## 4 数の大小



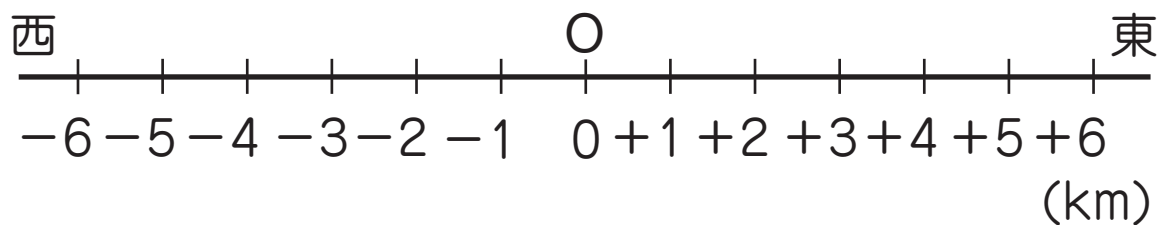
東西に通じる道路上で、次の地点ア  
～エは地点0からそれぞれどれだけの  
きより  
距離にあるでしょうか。

ア  $-5\text{km}$

イ  $+5\text{km}$

ウ  $-3\text{km}$

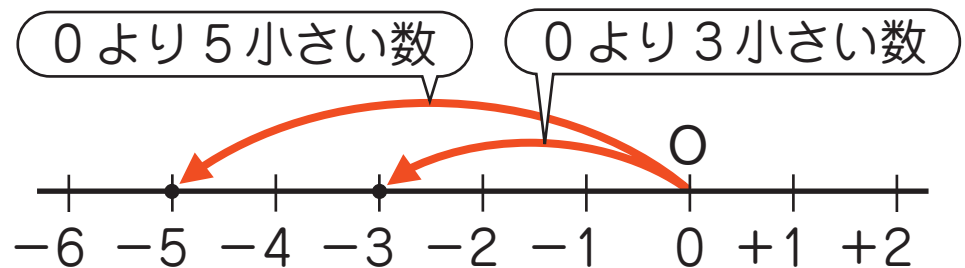
エ  $+3\text{km}$



16-1



(1)  $-5$ と $-3$ は数直線上でどちらが右にありますか。



Q1 次の(1), (2)で, 2つの数の大小を調べ, 不等号を使って表しなさい。

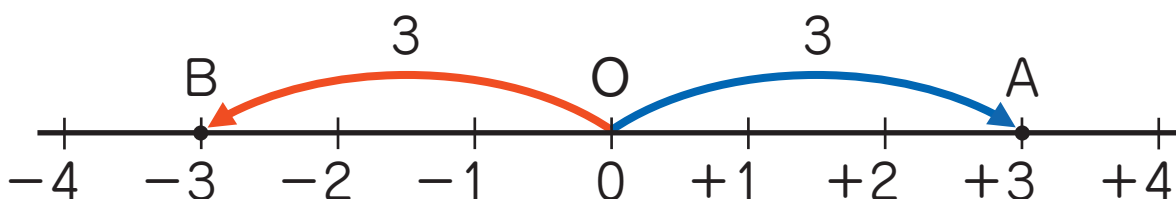
(1)  $-2$ と $-6$

(2)  $-6$ と $+2$



数直線上では, 大きい数を表す点のほう  
が右にあります。

次の数直線上で、点Aは原点Oから3だけ右に、点BはOから3だけ左にあります。そして、Oからの距離はどちらも3です。



ある数を表す点を数直線上にとったとき、原点からその点までの距離を、その数のぜったいち**絶対値**といいます。したがって、+3の絶対値は3で、-3の絶対値も3です。

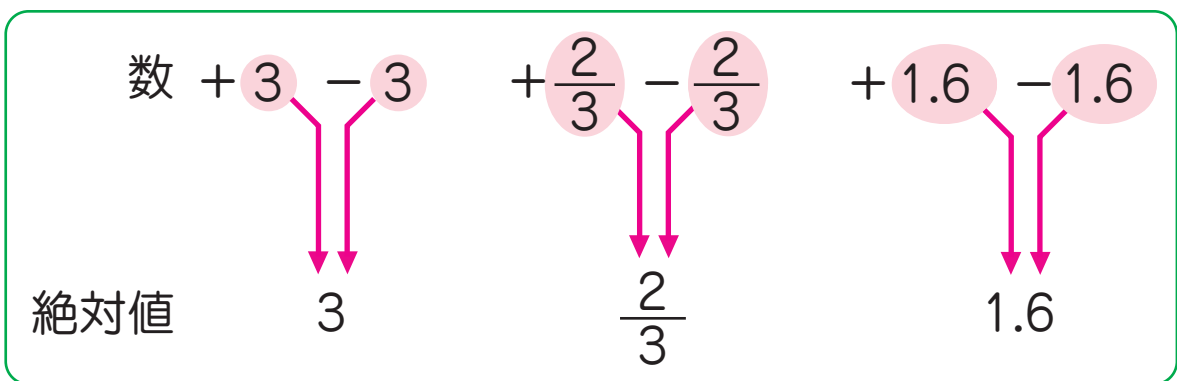
0の絶対値は0です。

16-4

**Q2**  $+\frac{2}{3}$ ,  $-\frac{2}{3}$ の絶対値をいいなさい。

また,  $+1.6$ ,  $-1.6$ の絶対値をいいなさい。

数の絶対値は, 下の●の部分であるとみることもできます。



**Q3** 次の(1), (2)の数をすべていいなさい。

(1) 絶対値が5である数

(2) 絶対値が3より小さい整数

**Q4** 次の数を小さい順に並べ, 符号と絶対値をいいなさい。

$+2$   $-2$   $-5$   $-1.5$   $+\frac{1}{2}$   $0$   $-3$   $-2\frac{1}{2}$

17-1

## ● 数の大小

- 1 正の数は0より大きく，負の数は0より小さい。  
正の数は負の数より大きい。
- 2 正の数では，その絶対値が大きいものほど大きい。
- 3 負の数では，その絶対値が大きいものほど小さい。

Q5 次の□にあてはまる不等号を入れなさい。

(1)  $+3 \square -7$

(2)  $-20 \square -40$

(3)  $-2.03 \square -2.3$

(4)  $-1 \square -\frac{5}{6}$

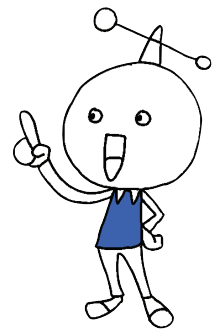
## プラス・ワン

$$(1) -0.5 \square -\frac{3}{5}$$

$$(2) -1\frac{3}{4} \square -\frac{5}{3}$$

3つの数の大小を表すときは、  
たとえば  $-5 < -3 < +3$  のように表しま  
す。

$-5 < +3 > -3$ とは  
しないんだね。



**Q6** 次の数の大小を，不等号を使って表しなさい。

$$(1) +2, -9, 0$$

$$(2) -\frac{1}{2}, +\frac{1}{3}, -\frac{1}{4}$$